

当社は、“快適生活”をコンセプトに置き、暮らしに寄り添い新たな価値を創出し続けてきました。企画から製造・販売を手掛ける責任として自社施設と設備及びサプライチェーンにおいて、環境課題を抽出して会社全体で対策を推奨・実践し、この取組を通じて共に成長しながら豊かな地球環境の実現に貢献します。

<事業適応計画の概要>

1. 事業適応計画の実施期間

2023年4月～2024年12月

2. 生産性向上目標・新需要開拓目標

角田工場の炭素生産性を、11.36%向上させる。
裾野工場の炭素生産性を、32.88%向上させる。
埼玉工場の炭素生産性を、37.01%向上させる。

3. 前向きな取組の内容

角田工場にて、パック米製造ラインを増設し、販売量・輸出量の増加による収益の向上及び新たな雇用の創出により付加価値額が増加。

同工場にて、太陽光発電自家消費設備を導入することにより、エネルギーコスト削減による付加価値額の増加及びエネルギー起源CO2排出量の削減に寄与。これらの取組により、角田工場の炭素生産性を11.36%向上させる。

裾野工場の新設に伴い、炭酸水製造ライン及び天然水製造ラインを導入し、販売量増加による収益の向上及び新たな雇用の創出により付加価値額が増加。この取組により、裾野工場の炭素生産性を32.88%向上させる。

埼玉工場において、太陽光発電自家消費設備を導入することにより、エネルギーコスト削減による付加価値額の増加及びエネルギー起源CO2排出量の削減に寄与。この取組により、埼玉工場の炭素生産性を37.01%向上させる。

4. 支援措置

税制措置（カーボンニュートラルに向けた投資促進税制）

<角田工場全景>



<埼玉工場全景>



<取組の主な製品>



IRIS OHYAMA

